

四国財務局

1. 総論

【総括判断】

「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある」









項目	前回（2年1月判断）	今回（2年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復している	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある	

（注）2年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、スーパーが弱含んでいるほか、百貨店や観光などが低調となっていることから、全体としては弱含んでいる。生産活動は、輸送機械や窯業・土石で持ち直しに向けた動きに一服感がみられ、化学は足踏みの状況にあることから、全体としては、足踏みの状況にある。雇用情勢は、改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（2年1月判断）	今回（2年4月判断）	前回比較
個人消費	回復しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	
生産活動	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある	足踏みの状況にある	
雇用情勢	改善しており、人手不足感が続いている	改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる	
設備投資	元年度は前年度を下回る見込み	元年度は前年度を下回る見込み	
企業収益	元年度は減益見込み	元年度は減益見込み	
企業の景況感	現状判断は「下降」超	現状判断は「下降」超	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	

【先行き】

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況となることが見込まれており、さらなる下振れリスクにも十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

スーパーは、飲食料品が堅調であるものの、衣料品や身の回り品が弱い動きとなっていることから、全体としては弱含んでいる。コンビニエンスストアは、来店客数が減少しているものの、デザートや冷凍食品等に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。ドラッグストア販売は、新規出店効果に加え、マスク等の衛生用品や飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っている。家電販売は、エアコン等の動きが鈍いことから、前年を下回っている。ホームセンター販売は、マスク等の衛生用品や園芸用品に動きがみられることから、前年を上回っている。百貨店は、飲食料品に弱さがみられるほか、衣料品が低調であることから、全体としては低調となっている。乗用車販売は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年を下回っている。観光は、新型コロナウイルス感染症の影響により、低調となっている。国内旅行、海外旅行ともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、低調となっている。

(主なヒアリング結果)

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、冷凍食品やレトルト食品等のストック需要が伸びているものの、卒業式の中止などもあり、フォーマル関連を中心とした衣料品等は低調となっている。(スーパー)
- 新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛から、行楽需要等が振るわず、来店客数が減少している。(コンビニエンスストア)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、マスク等の衛生用品が品薄状態となっている。安定供給の目途が立たないため、個数制限を設けるなどの対応策を実施している。(ドラッグストア)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を自粛していることから日本人観光客が減少しているほか、国際線の運休により外国人観光客も大幅に減少している。(観光施設)

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

輸送機械は、高操業が続いているものの、新規受注は厳しい状況にあり、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。窯業・土石は、需要に落ち着きがみられることから、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。化学は、需要に落ち着きがみられることから、足踏みの状況にある。こうしたことから、全体では足踏みの状況にある。

- 高操業を継続しているが、新規受注は価格競争から厳しい状況となっている。(輸送機械)
- オリンピック需要が落ち着いたことから、生産量は減少している。(窯業・土石)
- 新型コロナウイルス感染症の影響などにより需要が減少したことから、生産調整のためラインを停止した。(化学)

■ 雇用情勢 「改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる」

有効求人倍率は、低下している。新規求人数は、サービス業や製造業等が減少するなど、前年を下回っている。

- 宿泊業において、新型コロナウイルス感染症の影響により、宴会や宿泊の予約キャンセルもあったことから、求人が減少している。(労働局)

- **設備投資** 「元年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年1-3月期
 - 全産業で16.8%の減少見込みとなっている。
 - これを業種別にみると、製造業で20.7%の減少見込み、非製造業で7.5%の減少見込みとなっている。
- **企業収益** 「元年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年1-3月期
 - 全産業で11.8%の減益見込みとなっている。
 - これを業種別にみると、製造業で14.6%の減益見込み、非製造業で2.9%の減益見込みとなっている。
- **住宅建設** 「前年を下回っている」
 - 新設住宅着工戸数でみると、貸家及び分譲で前年を上回っているものの、持家で前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。
- **公共事業** 「前年度を上回っている」
 - 前払金保証請負金額(令和元年度累計額)でみると、管内合計は前年度を上回っている。
 - 発注者別にみると、国など全てにおいて前年度を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前 回 (2年1月判断)	今 回 (2年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
香川県	緩やかに回復している	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある	↓	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。生産活動は足踏みの状況にある。雇用情勢は改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。
徳島県	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある	↓	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。生産活動は弱含んでいる。雇用情勢は改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。
愛媛県	回復しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある	↓	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。生産活動は足踏みの状況にある。雇用情勢は改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。
高知県	緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされた状況にある	↓	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。生産活動は足踏みの状況にある。雇用情勢は改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。